

# 

が述べられました。 きたい。」と施政方針 するため、邁進してい 責務の重さを肝に銘 寄せられた期待とその せて頂くことになり 続き市政の重責を担わ 初日、市長より「引き 会となる6月定例会の に再選し、最初の定例 赤間市長が4月15 嘉麻市をよりよく

施政方針の概要

IJ

公約に掲げた

安定した雇用の創出

の推進 結婚、出産、 住みたいまちづくり 子育て

続けたいまちづくり 高齢者が元気で住み

人口減少に対応した

の更なる支援

第2次総合計画」を基 市 じ 持続可能なまちづくり を課題とし、施策を講 るとともに、「嘉麻 総 合戦略」「嘉麻市

豊かな暮らしを支え

当面の取

組み

を促進させるため、 と既存企業の規模拡大 策を展開する。 の3点に力点を置き施 検 地の確保、 新たな企業誘致の実現 ○雇用の 討、PR活動 拡充に向け、 奨励措置 の推 進 用 0

計画」 け、 に取組む。 地域経済の活性化に向 ○「中小企業振興基本 総合的かつ計画的 を早期に策定し、

める。 ちづくり」を目指し、 調とした、 率的な行財政運営を進 と思える「魅力あるま 人口規模に見合った効 みたい・住み続けたい 嘉麻市に住



価の安定に努める。 従事者の不安解消と米 が連携・協力し、 再生協議会と関係機関 を見極め、 ○生産調整廃止 嘉麻市農業 一の影 農業 響

する。

促進に取組む。 実させ、 費用の補助により、 貸借費用及び引っ越し 育て世帯への施策を充 新婚世帯への新居の賃 ○市内に住居を構える 移住 ・定住 子

> せる福祉のまちづく 誰もが健やかに暮ら

充実に努める。

健康づくり事業を推進 防事業など、 の発症予防と重症化予 とともに、 づくりに取組んで頂く 0 ○健康寿命の延伸の 誰もが主体的に健康 乳幼児から高齢者 生活習慣病 よ り 一 層 た

IJ

も・子育て支援事業の ○幼児期の保育・ 充実及び地域の子ど 教育

め 組 営めるよう、介護保険 地域で安心して生活が た体制の拡充を図る。 システムの構築に向け 、ービスの充実をはじ み等、 認知症対策への取 地域包括ケア

どの母子保健の推 戸訪問や乳幼児健診な み育てることができる ○安心して子どもを産 よう、乳児家庭への全 進

図る。 ○高齢者が住み慣れ



# 尼間市長再選

# 

○すべての市民にプロ

支援ができるよう、 ジェクトKの継続的

研

な

修会の実施や指導者の

育成を図る。

てる教育。 ふるさとに誇りを持 文化のま

○1学級30人以下の

児

う」公民館への発展に のではなく、自らが「集 ○地域住民を「集める」

乗 の就業機会の拡大及び 1 務 Ķ 員 確保

る総合的な交通対策を ソフトにわた など、

い学力向上を図る。

きめ細やかな指導を行

6

より個に応じた、

況を的確に把握しなが 童生徒一人ひとりの状 人数指導を継続し、

跡地の 審議を継続し、 は、 ちづくりの中核的

画を策定する。 関する考え方の基本計 活用しながら利活用に 所にある山田高等学校 ンサルタントの知見も 協議会での慎重な 利活用について 専門コ

進める。

にな場

○DV防

機関との連携構築を図 関係部署や庁外の関係

# 働のまちづくり 市民と行政による協

〇同

和問題をはじ

め

する人権問題の

解

決に

向けた様々な取

い組みを

な財 減 لح る財政構造の基盤強化 命化を推進し適正配置 に鑑み、 〇公共施設のあり方に 著しく多い設置数など ついて進行する老朽化 を図り、 将来の財政負担の 他団体と比較して 源不足に対応でき 集約化や長寿 今後の大幅

同

見

努める。

行うとともに、

人権教

育・人権啓発の推進

〇山田

地区におけるま

者支援に向け、 止 と D V 庁内 被  $\mathcal{O}$ 害



2 市 1 化を図る じ生活圏域である飯 主性を尊重しなが 市 込まれている今日、 ○深刻な人口減 0) 地 嘉 都市圏 方圏 への流 麻市、 町がお互い の れを創 桂 へ の 少が 域 Ш

を図る。

流出を抑制するととも 都市圏からの地方 人権まもるくん と 人権あゆみちゃん 人の 町 活 出 6 0) 自 連  $\mathcal{O}$ 

る

を図る。

対し

助成を行い、

が 財

5

教育環境の充実

図るため、

大型第二

る民間バス路線維持を

免許取得費用の一

部 市

整備基本計画に基づき

合併特例債等の有利な

により廃止、 とともに、

減便とな

源を最大限活用しな

とした嘉麻市学校施設

業を継続して実施する ○高校等通学補助金事

乗務員不足

○校区内の小中学校を

安心なまちづくり

自然と共生する安全

体型校舎に整備する



定例会中に開催された委員会の 審査や活動を報告します。

(各委員会に付託された議案の審査結果は6ページ)



田中委員長





中村委員



田中委員



山倉委員

# 総務財政委員会

害者の支援のための

本案は、

配偶者等か

0

暴力の防止及び

堂に会して協議

#### ∨問題の 合的な対策を協議

議を行うため当該協議

合的な対策について協

会を設置するものです。

携が図れるため、それ

よって関係機関との 議会を設置することに る場がなかったが、

連

執行部より、

被害者

ぞれの

と考え、 の連携を図るものであ 対応が可能となるもの と認識を共有すること によって円滑・迅速な 配偶者からの暴力 関係機関相互

支援に関する共通理解

じていきたいと考えて

総合的な対策を講 課題等を出

いるとの回答がありま

かかる総合的な対策を ことから、DV問題 おいて、それぞれ関係 ことが定められている 機関との連携等を図る

護等に関する法律等に 防止及び被害者の保

> 致で可決されました。 ※本会議では、全会 致で可決しました。



あるとの説明がありま として設置するもので 協議する市の附

[属機関

審査の結果、

援に対する問題をどの 委員より、 被害者·

防止対策連絡協議

配

偶者等からの暴力

4

いくのかとの質問に対

今まで関係機

ような形で取り組

んで

岩永委員長



藤副委員長



割合は年々減少 より行っていた。

平

運行

中嶋委員



廣瀬委員



新井委員

#### 民生文教委員会

#### 市の霊柩車廃止

嘉麻市霊柩自動車使

葬儀業者における霊柩

整っていることから、

車

運

行業務はすでに

ものです。 止するため提案された 市霊柩自動車条例を廃 下したことから、 変化により必要性が低 案は、 社会情勢の 嘉麻

執行部より、

柩

自

も引き続き業務委託に 併後の嘉麻市にお 行っていたものを、 合が業務委託により 前の嘉穂南部火葬場組 動車運送事業は、 合併 いて

成 29 年 74件で、 成28年度の利用件数は の12%程度である。 ・度において、 火葬件数全体 亚

新井委員 定管理者制度の導 入に

産業建設委員会

市道路線の変更

より、 ころ、 務の見 はゼ 申請及び霊柩車受付業 口 市 件となっ 直 嘉麻斎場 しを行ったと 0) 申請件数 た。 0 利用

致で可決されました。

※本会議では、

全 会

日吉・ヤケスミ線

才田・山田線

吉

日吉線

致で可決しました。

審査の結果、

ありました。 断している旨の説明が でなくなったものと判 体搬送に苦慮する状況 なくても、 が運送手段を確保 市民がご遺

ありました。 考えている旨の回答が 依頼されているものと 搬送手段を葬儀業者 により、それに代わる 病 場までの運行 を行う場所から嘉麻 る 霊柩車は利用されて 又は葬儀場までご遺体 を搬送する時に、 れた病院等からご自宅 委員より、 院等からは、ご遺族 0) 市 かとの質問に対 の霊柩車は葬儀 亡くなら である。 市





石原委員







本案は、

県道下山

田

坂口委員

碓井線の福岡県施工

各路線の起点・終点の

路改良工事に伴

出水委員 変更が生じたため提案 位置及び道路延長等に

ました。

築事業は平成27年度で されたものです。 執行部より、

道路改

を市に移管した道路の 県と嘉麻市の間で県道 完了しているが、 福岡

基づいた安全施設、 取り扱い等の協定書に 道

うも 了し、 更が生じた路線は 各市道路線の変更を行 が平成28・ 路取付け等の整備工事 引継ぎを受けたため のである。 平 成30年4月に 29年度で完 今回



また、

線の変更

良工事に伴う市 福岡県施工の道路

の 5 路 新原・ 牟田

新原・牟田多線

であるとの説明があ に合わせ変更するもの あるため、今回の提案 ではなく「ムタダ」 の確認により「牟田多」 線については、 登記簿 で

致で可決されました。 ※本会議では、全会 致で可決しました。 審査の結果、 全会

# 議案の結果一覧(6月定例会) 各委員会で審査された議案を本会議で採決した結果

〇…全会一致 △…賛成多数 ※…討論あり

総教	財政委	<b>夏会</b>		
議案	第44号	配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会条例の制定	※○可	決
//	第46号	税条例等の所要の改正	○可	決
//	第47号	新庁舎施設整備等審議会条例及び地域整備協議会条例の廃止	○可	決
//	第49号	山林基金条例の制定	○可	決
//	第50号	住宅新築資金等貸付金の償還に関する合併前の条例の経過措置を定める条例の制定	○可	決
//	第51号	地域包括支援センター運営協議会条例の制定	○可	決
//	第52号	地域密着型サービス運営協議会条例の制定	○可	決
//	第53号	老人ホーム入所判定会議条例の制定	○可	決
//	第54号	住民投票条例等の所要の改正	※○可	決
//	第55号	碓井住民センター条例等の所要の改正	※△可	決
//	第56号	総合計画策定審議会条例等の所要の改正	○可	決
//	第57号	自治基本条例等の所要の改正	※○可	決
//	第58号	市立児童センター及び児童館条例等の所要の改正	※○可	決
//	第59号	職員の特別職の給与等に関する支給条例の所要の改正	※○可	決
//	第61号	過疎地域自立促進計画の所要の改正	○可	決
民生	文教委	員会		
議案	第45号	自殺対策連携協議会条例の制定	※○可	決
//	第48号	霊柩自動車使用条例の廃止	○可	— 決
//	第68号	後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○可	決
産業	建設委	員会		
議案	第62号	市道路線の変更	○可	決
//	第63号	市道路線の変更	○可	決
//	第64号	市道路線の変更	○可	決
//	第65号	市道路線の変更	○可	決
//	第66号	市道路線の変更	○可	決
//	第67号	市道路線の変更	○可	決
予算	特別委	員会		
議案	第43号	専決処分事項の承認(平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	○承	認
//	第69号	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	※△म	一
//	第70号	平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○可	決
その	他			
	第1号	選挙管理委員に佐々木義夫さん、茅島伊津美さん、福丸洋子さん、森裕治さんが当選		
//	第2号	選挙管理委員補充員に廣瀬由美さん、嶋田豊さん、鈴木淑文さん、加納惠子さんが当選		
議室	第71号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	○可	決

(全会一致・可決) ・ 会会一致・可決) ・ 会会一致・可決) ・ 会会一致・可決) ・ 会会一致・可決) ・ 会会一致・可決) ・ 会会一致・可決)

度拡充に係る意見書義務教育費国庫負担制教職員定数の改善及び

## 意見書

## 人事案件

で同意しました。

で同意しました。とについて出席者全員き次の方を推薦するこ期満了に伴い、引き続期満了に伴い、引き続期

## 6月補正予算

一般会計 10億3,474万円増

総額 265億2,335万円

国民健康保険特別会計 4億9,899万円増

総額 54億6,154万円

住宅新築資金会計 177万円増

総 額 5,032万円

補正なし

後期高齢者医療特別会計

総額 6億1,883万円

介護保険特別会計

総額 54億 277万円

水道事業会計

収益的支出 7億 145万円 資本的支出 17億5,550万円

6会計総額 405億1,378万円

※千円以下を切り捨てています。

#### 一般会計補正の主なもの

#### (歳入)

氏

観光施設整備事業債農村漁村振興交付金私立保育園施設整備事業費補助金2億2,660万円2億2,389万円私立保育園施設整備事業費補助金

#### (歳出)

観光拠点施設(農泊・レストラン)整備工事

4億4,662万円

私立保育園施設整備事業補助金 1億6,522万円 嘉麻浄化センター改修工事 8,900万円



嘉麻浄化センター(西郷)



<b>藤 伸一議員</b>	<b>中村 春夫 議員</b>
今後のトイレの洋式化の取り組みは9P	不法投棄ごみ問題のその後は9P
<b>石原 浩二 議員</b>	<b>田中 義幸 議員</b>
厳しい財政状況に対する対策は10P	交付金をだまし取ったのか・・・・・・10P
<b>出水 貴之 議員</b>	中嶋 時夫 議員
外部指導員の導入は11P	全ての市民に行き渡る対策は11P
<b>田上 孝樹 議員</b> SDGs(持続可能な開発目標)の考えは12P	<b>廣瀬 公彦 議員</b> 歴史ガイドボランティア育成の計画は12P
<b>新井 髙雄 議員</b> 学校教職員の異常なはたらき方の改善を13P	

#### 議員

不法投棄ごみ問題の その後は

答 県、国と協議を

重ねていきたい

質 覆土を踏まえ 元住民との協議 るの 覆土を踏まえた地 画 に 伴う残 昨 年 12 は進 土処 月

が

出さ



移動したことは前回辺の古タイヤを昨年 な 告したとお 対策 岡 環境課長 が問題のその ケ は 畑 引き続き県、 ŋ ŋ 地 区 抜 民 不 家周 本的 法 報 仮

を重ねたい。 国と情報を共 有 L 協議 に W んまか現でます在 月 30 日 に 10  $\vdash$ 

陰に入って より する 向 県 け 可 11 最 提申 る。 終 出請 3

出される予定である。

産

L

た業

者

26

0 23

٢

が

6

月

日

ま

で

**質** 大火災を起こ **で** 大火災を起こ でいないようだが現まであり、搬出が進すが山積みとなった 大火災を起こし 機入業 **远**处分場 県 に ょ でした 者 る 環境課品 入 6 月 7 日 りし、 、 る 産 たも 積み 認 た。 長 廃

い野熊質 どうするつもりなの 価れ確 物で 倒 いとの事であ 畑 したままにし に有価物として ŋ, はあくまで に現地に立ち 有 県によると 辺の状態も 価 棄 Ĺ 物) 上げら か。 は て

今後のトイレの洋式化の 取り組みは 学校の全てのトイレの

洋式化を進めていく

伸一 議員

ぼ式 32 小 全化 1 学 森 国 率 % 校 学 率 ナが43 3 % 平均となって で り、 国 中学校 国 で、 参事

ほ

児

童 あ

被

後  $\mathcal{O}$ 洋式 化  $\mathcal{O}$ 取

藤

ち木 を進めていく。 全てのトイレの が 本教育長 子ども 過ごせるように、 安心して学校  $\mathcal{O}$ 見通 は 洋 式 生

現在の小中学校のトイるという相談を受けた。

に入れ

ず、

木 和

って

方から、

式

 $\vdash$ 

新

期 1

り、  $\mathcal{O}$ 

年に

生な

護小

保

 $\mathcal{O}$ 

新 学

レ 現

0)

式

化

この整備が

状況

が学 報質 通学路の不審者対策 校教育課参事 件数と内容は。 本年度の不審 報 者 告 情

害は 単生徒への直接的なめった件数は11件で、 0) 発生していない。 者 方 報  $\mathcal{O}$ 保護

教育長 考えは。 は、 検討していく。 るため 間 課 市 題 長 の抑止 ŧ 犯罪 置に あ る 力に を 向 0) 防 け な止 7

学校教育課 度 している。 る保護者に情報を発信 (導入した「すぐメ で、登録され 事 . T 昨

路や公園 防犯カメラを設置する 年次的 だ、 通 学

から守るために 子どもたちを 犯

と十分検討して ると思うが、 教 育 部

質問 喜環投※ 美 境 資 他 に 術の を ICT 整備、 中 す制 小 事 企 業 度、 運 織 0 営を 田 教 設 廣育



ケ畑最終処 分

きれ あ 目 査 5 環 のその後の様子は。 を行 月 27 日 に立 0  $\mathcal{O}$ 境 たたため 1 整 に った。 長 備 に整地さ 産 調 重機もなく、 査 2 期工事 一廃場に ち入り調  $\mathcal{O}$ れて 後で

を開催した。 年3月に環境審 境 課 境 保 昨 全 今後も協 年 協 12 定 議 月 に

今 環

界に 代石の質 を重ねてい 表と水道管埋 坂管財課長 境界については。 つ 廃場と市 いて解決に向 生設と 有 地 け 境 11



議会だより かまし(49号)

で、

亚

成 3

42

年

一度に

は

2

8

L 税

V が

財 減

政

状

況

対 分

す

年 大 20 質

嘉

麻

市

10 計

は年

推

八村企画 年後の

l 財 政

課

-後は

万50

1 3

#### 田中 義幸 議員

**問** 交付金をだまし取ったのか

答 慣例と、理解している



で

は

行

金い

取 報

0

た P

لح 交

酬

た

をだま

か。

よ質の正可こ安は行だりに確能の陪不政立 陪総務課長 能 業務 数字を把握 区長が慣例 いと思う。 行政区 を行うの を申告し 行 長 政 は 不 す が、 が

**質** 数の確 が、平 系 不可 現 X で能では 実問題 一では、 てい 成築 な 26 地 11 を 年 区 たとのこと カュ な として大 実 申 度 1 その 数 告 に か。 して 確 世 認 後 带政

質今後が

今後どうする。

務

課

長

行

政

X

長

な

V)

総 る

務

課

長

例

はどうなっているのかある交付金の計算方長手当、隣組長手当 質たい頼総 務課 長 政 長の 区 手 行 長 方 当 政 か。 法 で区

5

0

円

12

カ月で

域び隣

書

が

起

因

する

地 及

 $\mathcal{O}$ 

身

分

0

問

題

用

務員

の費用 一帯数の

負 登

担問 録

題 題

問

額

だ

が、 を

前

1

2

間 明 組

紛 細 長

は

急

理 な付 る政稲た規区築も 0 報 ŧ 0 酬 地 ŋ  $\mathcal{O}$ 円 X が 1 2 2 円 隣 月 等 組 額 割 長 لح を 1 が は、 な 世 8

世井と る予 払同 算 11 が、 地 当 同 区 0 則 運 を り 1 ľ は、 て 積算で年 慣 3 5 0 例 で 円 月 額 1 だ。 3 支 1

方法を検 らざるを得

討

て

V

き 良 に

**質** 交付金 **総務課長** が生じている が生じている がないで行政 後 1 くく、 金 政 1  $\mathcal{O}$ X 3 明 間 円 細  $\mathcal{O}$ で 争れ 世 いが 帯

行

説明に行く。 納得しても ١, 迷 資 惑 らうよ 料 を 作 カコ う 成け

学

建

設、

子ども

 $\mathcal{O}$ 

貧

木

対 校

策

などを質問。

交付金 7 平成29年 行政区長殿 行政区長 総支払額 2 月分 0 F 0円 45,645円 45,645円 の交付金は毎月15日に支払います ただし、15日が土曜、日曜、祭日の 合は、金曜に支払います

※ け L 他 き 努力したい て で す に 問い 地 小中 題だ。 るとすれ 域 間 -学 校 明 紛 細 争 解 決 ば が 書 体 に 由 行 が 型 わ原 向 K

#### 議員

厳しい財政状況に対する 対策は

答 行政のスリム化を推進するとともに 職員数の適正化、人件費削減を図る

万 7 8 9 く 約 人 年 7 に 度 されているの に 減 方 0 放課長 交付に は 0 少 2 人 れくられくら 一 万 1 減 人 以 少 平 成 52 4 1 6 後 L 民出 民 て 毎 年 交

> 厳付質る 付激が人 金な 交 人 付 口 П さ ŋ 額減 き少 和 て れに 措 V たよ 置伴 る。 り Ď ŧ の交

る対: スの 公の企 IJ 共 民 画 民 策 A 間 施 営 財 ít。 化を推 委 設 化政 員 託 管 課 Þ な遅 窓長 進 П 適 保 す 行 営 業 う と 正 業 育 政 務、 0 務 袁

減れ約 15 万 6 千 交 急 円 別 れた基金の残金 財政調整 基

金等の内部留

は

基

目

**質** 合併特例事業 は83億1347円 となっている。 まで 用 4 活 4 用 る 工 上 4 限 0 枠 万 は 2 額 円 区合後 業 方 5 が 別 1 2 債 あ 現 在億の

億673 以調整 災 基金 害等 基

を 題 強く求 望 П と して 減 災害対 少 小める。 取 対 政 く健全化 ŋ 策 を重 策 組 لح む 対 対 要 策、 応

**企**か 8 は、 後  $\mathcal{O}$ 画 舎  $\mathcal{O}$ 活 財 新 活用計 80万円と 用政 支所 体 額課 事 は、 業、 画 に 1 な 0 2 在

ある。 一旧るて今体庁事は後 体 庁 型 校整 体 支所建設事業、 備 事 業等 等小中

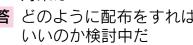
問旧市 高 校 利活用を 備

山民 田の 生 活 環 境 整

#### 中嶋 議員

問 全ての市民に行き渡る 対策は

答 どのように配布をすれば



ように 入という状況だ。ど 加 入世帯 全体 配布をす 5 へ の % n 配



質 広報誌の果たす役割: 広報誌の果たす役

対し行うサービスだ。 安陪総務課長 市 民に

質

渡る対策はしたの 500世帯が隣組 総務課長 全ての市民に行き 現在、 約 3 点に未 か。 質「行政め問題ない 総務課長 予算の範囲

内

で

あ

るた

入しなくて 稲築地区は

は、

慣例で記 い

をしてい

る。

しなくても

 $\mathcal{O}$ 

カュ

か。 。 に に 関 ·何 と する規則」 行政区及び隣 て あの 第 る 5

務課

長

行 政 X 長 は 任 則 は 記 行

になると思われる。

事実確認に基

交付金は支払

務課長

 $\mathcal{O}$ 

と

したの 長会で して 布 問 題 を

や慣行が交付金の算 質 稲築地区は、慣 基礎となり得るのか。 算定基礎は、 区は、慣例 算

組 長 のようにな ようになっている責 入して報告するよ に定めている様 政側 慣例等でこ にも

規定されている。 行 布 わけ 対象世 れ ればならない報告書によ ※を市  $\mathcal{O}$ 市

行

相

す

Ź

をれ

理  $\mathcal{O}$ 

L

いかない

لح な

る

が

原

則

だ。

そこ

X

長との 整

信 て

頼関係は

りに配

支出され 総 は 外 は い 隣 務 な が 把 る 組 できない。 で が未加まれて ない は、 けを記入し ので、 長が区費を集めて 交 付 政 れてい で きる。 X 入 行政 加 金が適 世  $\mathcal{O}$ た報 帯 入世帯数 る 世 区では、 それ以 確 帯 な ので 認 正 告 総

規定どおり全てを記入 稲築以外の地区は、

W:--F:-(ワ 起 き ンニング費用には補

**「長** 教職員の働き方改革の一つである をあ、部活動の失己 ため、部活動の失己 のとなるよう協 員 あ 討は行ったか。 る。 で がが i は 活用ができるが、 あ あ 使えるWi-Fi環 共施設などに避 総務省のWi-Fi 観光振興にも使 る。 ま 便利で 画で補助 た、 W i F 安心 難

え

貴之 議員

導員」

制度を使

って

負

赤間市長 教職員の導入の見解はどうか。

指

担軽減できないか。

引率もできる「外部務められ、試合など

合などの

る。

市

 $\mathcal{O}$ 

外

部

指

導

がっている。

顧 る

間

ŧ が

IJ

な

ソットが生

求め

声 部  $\mathcal{O}$ 

上動消質

教

員 て、

 $\mathcal{O}$ 

多

校 忙

 $\mathcal{O}$ 化

活 解

員制

は

場

難

所

لح

な

を 度

外部指導員の導入は

協議を行っていきたい

必要。今後、速やか 則等の整備と予算化 部活動指導員に係る

備と予算化が 導員に係る規

いも

に

議を行っていきたい。

教職員の働き方改革の一つ、

出水

·きたい。

等を

備し、

長

を行

って 市 カン

ファイ)整備

大規模災害

が

高野 費用にのみ適用 通 信 費や保守などの 総務課参事 さ 設 れ、 置

する場 備をしてもらいたい。 |備の取り組みを行わ||増やす民間との共同 望 Wi-Fiスポ 物所を絞 必 要 最 小 込み 限 ット 整 整 備

災害情 が最重要に 店 あ 認など、 にも有 る。  $\mathcal{O}$ 災 活 報 ま  $\mathcal{O}$ 性 情報基記 た、 は 効 課 発 観 化 なッ 間 題 信 点 教 観 やか生ら 違  $\mathcal{O}$ カュ 育 光 盤

ルのやつ整存は<mark>市</mark>な整を増でた商で備確、 **長**いのやあめ店あが認災。かのや か。

金

検

きたい な がら 優 取 先 順 ŋ 位 組 を ん で 精 11 査

誘 サテライトオフィ 技 ※他にIC 致、 術 者等見守りを質問  $\mathcal{O}$ 遠 活 Т 用 談窓 に 情 お 報 ス け 通  $\mathcal{O}$ る

11

#### 廣瀬 公彦 議員

- 歴史ガイドボランティア 育成の計画は
- 答 本市に見合う制度を設計し、 要綱の策定を目指している



防災対:

度

15

 $\mathcal{O}$ 

不

メ

ラに

0

V

7

年

1

度

11

体

な

内

容

は

出

て

いるが

被

して

平

成

度に

22 防

年上は、

 $\mathcal{O}$ 

対 本

大野防災対策課長 者情報が 昨 年

て

11

る。

来

校者 ては今

誘 設

導ラ

校

の入り口に

置

し

きないとのこと。 捜査情報の 麻署に確認したところ ため 開 示 で

に検討したい。 学校施設整備を行 がしたい。

行う際

子育てガイドブック

ド聞 5 , 嘉 麻 月 ク 沢 25 が市 の日防の 市 紹 防犯ハン でも 毎 日 活 新

改に質

も掲載されたが

市のホームペー

とはできないか。 上村こども育成課長

療機関に設置

す

るこ

は。

また、市

内次

0

学校教育課長

ブックにある防

犯

#### 孝樹 田上 議員

SDGs(持続可能な開発 目標)の考えは

事業の理解を深め先進的 事例を参考に検討したい

会一致 念を掲 て標だ。 ットにおいて加盟国全 康と福祉の い続けら. ŋ この誰一人とし げ、 残さな で採択された目 育、 貧困 れるまちづ の目標と各 産 いとの 推 の解 進、質 消 理

国連サミ ・マに、 2 ・ゝ。 嘉麻市の取り地方であると言われている。 誤員し みい地模 定 う認識されるの て も大事だと思うが 5 Ť で 1 は る か。 6 世 た 界 さ 9  $\Diamond$ 

2015年の

残さないをテー

S D G S

続

可

施指針が決定さら持続可能な開発目標 S 。 自 DGS達成に向けた取 に当た 発目標実 0 れ、 重

け、子層の 共団: 克 進れ 7 みの の に て Ó 達成に向けた取り 性が 閣議決定され地 高 の推進が位置づけら達成に向けた取り組 いる。 活性 ょ 体においてSDGS 齢 り、 現 化 に歯 与 化 SDGS0 人口 自治体の を図 ż 石減少をといった。 れ た。 方 推

組 て は

力の

て がること が 期 待 さ

ての考えは。 進について担 理念を反映させて ことを期待するが、 次総合計画にSD 課 G S の V 推 <

定や、総合戦略が及びターゲッル及びターゲットを推進するにいる。 直 しを を整える必 進するには、 - ゲット 要がある。 体略 SDGS ゴー

市 として

制の整見

を深 に 参 め、 設置 加

研

は本年度、先進地想 長岡生涯学習課長 情報収: や全国 歴史ガイド 合う制度を設 4集を行 策定を目 の先進地事 ボ は 本 例 視 ラ 計 市の 察画 ボ

施政方針 れるよう検討したい。きるだけ皆様の手に で更新し 議 はて で医い 今後の人口 **ラ後の人口減少社会** これから考えていく。

質 長野県飯田市では 高校生に地元の魅力を 和る教育を取り入れて 知る教育を取り入れて 知るが。 若者の大都市圏への流 出や人口減少は大きか 出や人口減少は大きか 出や人口減少は大きか てる取り 嘉 組 麻 ふるさと みを 市 大きな 土を愛 を 様、

ふじさわ 防犯ハンドブック

ても 医 育てていきたい。 0 てくれる子どもたち いても、 策に取り 療や移住定住促 帰ってきたい 来的には さまざま くと思っ 住 進 地 4 に 域 を

田市では

魅力を

7

メラの役割として、 ※他に移動する防 行きたいと考えてい を参考にして検討 車にドライブレコ Ļ 先 を質問。 進 事 的 業 犯 事  $\mathcal{O}$ 例 理

#### いっぱん質問

#### 新井 議員

学校教職員の異常な はたらき方の改善を

5

時

間以上になる。

た

だちに改善すべきだ。

福教育委員長 残

課

題

つであ

り 業

県教育委員会に増員など 要望を続ける

> 常であ <u>人</u>し る。 場 の 外 の 時 月 らしても、 間を超える残業 (4 から4月に月160 教職! 月 1 料によると今年1 ているが、毎 り常態化 員 本市 の残業は異 時間に照 学校 して 日 現

務基準、

多忙に

0

0

で

が

示

す

時

に

承

L

7

11 る。

ま

って

1

る。

教

書

筑科

教見

飯塚市の

豊

市民

は

知

が

間外勤

の規範を国民に畑に役立つ人材育な 使う の人格形成よりも、国教育基本法がいう個人 け 授業にどの教科書を るものではないか。 つ人材育成、 選定作業が始 押し 国 国 0

だった。 必要だ。 する場をもうけるべ 見が反映される保障 など教科書見本を展

支所や図

手渡すかは、市民の意ち生徒にどの教科書を ものであり、 教育権は国民主体 子どもた 書館が 示

の書と、 閲覧場で **※** 号に掲載するが、 までの展示を広報7月 6月15日から7月 大分坑路線廃止 大森学校教育課参事 採択協議会に問 他 に 協議したい。 所などは、 西 鉄バス碓 問 題 合 教市 4 # を せ科 内 日

思う。 摘 業科に が す 書によって道 ょ 行 0 われるの て 心 決 配  $\emptyset$ は 5 な で 徳 れ  $\mathcal{O}$ た 11 

(単位・人)

嘉麻市小中学校教職員長時間時間外勤務者数 (平成30年1月~平成30年4月)

(年四・人)								
(	80時 100時	間超 間未満	)	100時間超				
1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月	
17	25	24	26	20	20	22	38	

# 議会運営委員会

5月9日 臨時会の日程等

6月1日

6 月 22 日 6月定例会の日程:

定例会最終日の日

6 月 18 調新 調査特別委員会制庁舎に関する 日

4 月 16 日

議会広報編集

議会広報編集

捗状況など 庁舎建設に関する進

4 月 20 日 4 月 19 日

議会広報編集

議会広報編集

広報編集特別委員会

4 月 12

質来年度からの「道中学校「道徳」正教科 らも続けていきたい。 望してきたし、これ も教職員の 正 来年度からの「道 教 委員会に、今ま 科 は、 増員を要 憲法、 カゝ されていない。 できるが、 育事務所で見ること は、

徳」

教育委員長

玉  $\mathcal{O}$ 

手

順

# 高校生議会に向け議会を傍聴



稲築志耕館高等学校一般質問6月20日



## 嘉麻市立大隈城山校一般質問6月21日





(目的)
政治に関心を持つ。
な意欲を高める。
な意欲を高める。
地域への愛着や誇り
地域への愛着や誇り
地域への愛着や誇り

案等を ちの 生議会を開催 12 であ が 5 11 て市 n 18 平 来 る市 を 歳以 行う嘉麻市高校 まち ま 担う 政 日議会議場に 地域上に引き にのでする。 のでする。 。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のでで。 のです。 のです。 のです。 のです 対 する提



-般質問がまちづくりにどう生かされて いるのか。その後を追います。



問

## 主防災組織の 現状は



### 8団体が組織 されている。 (H30.7.23 現在)



たという報告があ

b,

1主的

な住民組織の

有

の方々により救出され 人たちの6割が、 震災では、

救出された

近

所

また、

阪 神 •

淡

路

大

災害時に の活動を行います。 救出救護、 は防災訓練や広報活動 伝達 所 具体的には、 への給水給食など 集団避難、 は 情報の収集 初期消火、 平常時 避

地域住民の助け合い

で

害時、

頼りになるの

ければなりません。 や救助活動にあたら

は災な

お互いに助けたり、 域に暮らす私たちは、 ある「共助」です。 あります。 主防災組織の必要性 あります。いざという けられたりする関係に ときに備えることに自 助 地

りま **※** 自 成 れています。 在では8団体が組 27 せ 年6月現在まであ 主 一防災 んでしたが、 組 は、 現 亚

効性が改めて認識され

などを対象に、 防災組織を立ち上げた 防災対策課までご連 座を実施しています。 いと考えている行政区 市ではこれ から自う 出前講 主

# ※出前講座

ます。 の多くは、 できる規模とされてい さが最も効果的に活 どから見て、 して結成されています。 コミュニティを単位と て一体性を有する大き 理的条件、 自主防災組 そのため、 生活 行政区など 地域とし 織 環境な は、 組織 動 地

を行う組織のことを言

ちが協力して初期消

火 た

連携し、

防災活

動

ような時、

近所の人

能性があります。この 分な対応ができない

可

います。

域の方々が自発的に協

う連帯感に基づき、 分たちで守る。

地

自

分たち

0

地

とい

自

主

災

組

織 域 は自 は

大規模災害が

目主防災組織って

どうして必要なの?

はあるの? 正な組織 の規模

# 臨時会が

# 開催されました

開催されました。 会が5月14日(月)に 平成30年5月31日付 平成30年第2回臨時

副市長の選任議案など、 任期が満了となるため、 で副市長白石二郎氏の

※討論あり

提案され、すべて同意 議案4件、報告2件が

承認されました。

のとおりです。 議決された案件は次

専決処分事項(税条

条例について)

人事案件

例の一部を改正する

(全会一致・同意)

(全会一致・承認)

▼専決処分事項(国民 (賛成多数・承認) ついて) 部を改正する条例に 健康保険税条例の一

専決処分事項(交通 事故に係る損害賠償 ついて) の額を定めることに

れていた交通事故の ※3月議会で承認さ

(全会一致・承認)

▼副市長の任命につい

# 議会議員の活動の場 民の皆様が選んだ

STATE ませんか。 身の目で議会を見てみ るため様々な議論を行 ができる場所です。 われ方などを知ること 市政方針や、予算の使 の一つである議会は、 っています。あなた自 嘉麻市をより良くす

# 〇傍聴場所

嘉麻市役所 碓井庁舎3階

(議場及び委員会室)

# 〇傍聴手続き

傍聴人受付名簿に住 入してください。 所、氏名、年齢を記

# 〇傍聴時の注意事項

議場での言論に対し 表明しない。 により公然と可否を て拍手その他の方法

はち巻き、腕章、た 笑ったり、騒がない おしゃべりしたり、 すき、リボン等を着

集団で威力を示さな 用したり、張り紙、 旗、垂れ幕類を掲げ、

・帽子、コート、マフ ラー の類を着用しな

合は着用できます。) (議長の許可を得た場

飲食、喫煙は禁止。

・みだりに席を離れた しない。 り、不体裁な行為を

写真やビデオ等を撮 携帯電話は電源を切 にする。 るか、マナーモード 影したり録音等をし

# ※児童や乳幼児は、 長の許可を得なけ

※危険なものを持って 聴できません。 いる者・酒気を帯び ている場合などは傍

# ◎次の議会は 9月の予定です



ば傍聴できません。 ń 議